

平成 30 年度第 1 回鶴岡市地域公共交通活性化協議会 (兼鶴岡市地域公共交通会議) 議事録 (概要)

■日時：平成 30 年 6 月 25 日 (月) 午前 10 時 30 分～11 時 30 分

■会場：鶴岡市役所 6 階大会議室

■委員出欠：鶴岡市 副市長

庄内交通 (株) 取締役社長

庄内交通 (株) 乗合・貸切バス事業部 乗合バス課 課長

(一社) 山形県バス協会 専務理事

(一社) 山形県ハイヤー協会 会長

(一社) 山形県ハイヤー協会鶴岡支部 支部長

鶴岡市町内会連合会 副会長

鶴岡市自治振興会連絡協議会 加茂地区自治振興会長

東北運輸局 山形運輸支局 主席運輸企画専門官

山形県交通運輸産業労働組合協議会 書記長

東北地方整備局酒田河川国道事務所鶴岡国道維持出張所長

庄内総合支庁道路計画課 課長補佐

鶴岡警察署 交通規制係長

庄内総合支庁 総務企画部 総務課 連携支援室 室長補佐

鶴岡商工会議所 専務理事

鶴岡市老人クラブ連合会 会長

鶴岡市身体障害者福祉団体連合会 副会長

鶴岡市地域婦人会連合会 会長

藤島町内会長連絡協議会 会長

羽黒区長会 会長

楡引区長会 会長

朝日地域自治会連絡協議会 会長

温海地域自治会長会 会長

山口 朗 会長

村 紀明 副会長

中村 美穂 (同席)

小関 和夫 委員 (代理)

石川 康夫 委員 (欠席)

柿崎 裕 委員

委員

監事

曾田 光 委員 (代理)

阿部 亮哉 委員 (代理)

神成 金弘 委員 (代理)

本間 直樹 委員 (代理)

藤田 和弘 委員 (代理)

高橋 昌之 委員 (代理)

加藤 淳一 委員 (代理)

委員 (欠席)

委員 (代理)

委員

委員 (欠席)

委員

委員

委員

委員

■事務局：鶴岡市 企画部 地域振興課 課長

鶴岡市 企画部 地域振興課 主査

鶴岡市 企画部 地域振興課 専門員

鶴見美由紀

栗田 甚吉

芳賀 俊郎

■傍聴者： 1 名

■次第：

1. 開会（午前 10 時 30 分）
2. 挨拶
3. 報告
（1）平成 29 年度地域公共交通確保維持活性化の取組みについて
4. 協議事項
（1）平成 31 年度地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について
（2）地域公共交通網形成計画(平成 28～32 年度)における平成 30 年度事業について
（3）その他
5. その他
6. 閉会（午前 11 時 30 分）

■資料： 次第、委員名簿、協議会規約、設置要綱、資料 1～4、観光バスチラシ

■地域振興課・鶴見課長が次第に沿って進行した。

■山口会長(副市長)の挨拶のあと、出席委員の自己紹介を行った。

■規約に基づき、山口会長を議長に選任し進行した。

■ 3. 報告

- （1）平成 29 年度地域公共交通確保維持活性化の取組みについて

○議長：

それでは報告に入ります。事務局より説明をお願いします。

○地域振興課： 説明（資料 1）

○議長：

ただ今の報告について、ご質問やご意見等はございませんか。

（委員より意見、質問は無かった。）

■ 4. 協議事項

- （1）平成 31 年度地域内フィーダー系統確保維持計画

○議長：

次に協議事項に入ります。はじめに「（1）平成 31 年度地域内フィーダー系統確保維持計画」について、事務局より説明をお願いします。

○地域振興課： 説明（資料 2）

○議長：

ただ今の「平成 31 年度地域内フィーダー系統確保維持計画」につきまして、ご質問、ご意見お伺いしたいと思います。

○委員：

27 万人の目標値に対しての根拠という事で、私は基本的にはよろしいと思いますが、高校生や高齢者の利用増ということでお考えのようですけども、やはり羽黒地域ですと山間、中山間地域など路線バス以外の地域が非常に多い。にこにこバス(市バス)を高齢者などは使っておりますが、

高校生はバス路線以外はほとんど家庭の送り迎えという実態がある。自転車も一部ありますが、本当に高校生が利用出来る様なバス運行時間とか、利便性の面で具体的にどうゆうことをやろうとしているのか教えて頂きたい。

○地域振興課：

高校生の足の確保というのは非常に大事な事と考えております。こちらの計画にもあります通り、バスの利用につきましては大体高校生と高齢者方がメインのユーザーになると考えておりまして、市といたしましても庄内交通さんと協力しながら今後高校生の利用増を進めて行きたいと考えております。

高校生が利用しやすいようにという事で100円バスがあります。市街地のみになってしましますが、出来れば雨の日に気軽にバスに乗って移動して頂きたいという事で100円バスを始めさせていただきます。バスダイヤ時刻につきましては、庄内交通さんに地域の方から出てきた要望をお伝えしまして、この度、朝日地域でのバス運行時間を変更して頂いている所でございます。また、市と致しましても高校生のバス利用しやすいような政策を検討している所でございます。

○委員：

三瀬に住んでおりまして、地域の人たちの声とかさうゆうのを考えてみますと、例えばゴールドパスがどこで販売してどのようなシステムなのかというのが、高齢者に分かっているのかどうか。チラシを出したからいいとか、そういう問題ではないのかな。大変手数のかかる事ですが、地域のコミセンなんかでバスの利用の仕方についての話し合いがあるとか。気軽に話が出来る様な、「それなら私もそれを買いたい」とか。動かないで一日中家から出ない年寄りが結構います。家に遊びに来るのも、車のある方は車で来るのですが、歩いて来るのが大変だというのが町の中だけでもあります。町の中ではなくて、医者に行きたいけれどもどうして行ったらいいのか、こういうのが結構あるんです。お金を出して運転ができる人たちに頼んでいる方もいる。もう少し地域のそういう人達にPRするやり方を考えて欲しいと思うんです。ここでは私も大変よく分かって帰るのですが、地域に行って「バスの話しがあるから出て来い」という権限もございませんし、皆さんがざっくばらんに話し合う機会というのはコミセンなんかからみてもあまりないんです。だから、コミセンを通して庄内交通から割安で乗れるバスの説明会をやって頂いたらどうでしょう。三瀬だと「なんでバスは海岸地だけ通るんだ」、バスに乗るには駅から歩いて20分掛ります。駅のもっと奥の方もおります。なぜ駅まで来るバスが出来ないのかという声もあるんですが、そういう集まりをするということがないものですから、コミセンの会長さんにお話して役員会で話しをするくらいしか出来ません。大変良い計画が皆さんに浸透して効果が現れるようなやり方をするには、大変御苦勞な話ですけど、やっぱり事業者側としてこういう風なやり方でやりたい、市役所が一緒になった形でPRする機会を作って欲しいなという風に思うので無理でしょうか。

○地域振興課：

ゴールドパスの制度につきましては、4月から広報ですとかチラシですとか機会を捉えまして皆さんの方に周知を図っている所でございますが、まだまだ周知が足りていないのも事実でございます。各コミュニティーセンターや自治会など、何か集まる機会がありましたら庄内交通さんはこちらの方で出掛けて行き説明させていただきますと、各コミュニティーセンターや地区の自治会へは連絡させて頂いております。バスの体験試乗ですとか、様々な機会もございますので、

ご希望があれば庄内交通さんと地域に出かけて参りますので、そういった情報などもお寄せいただければと思います。

○庄内交通：

今年の3月の市議会でゴールドパスに市の補助が入るというお話が決まりまして、4月1日の広報にお知らせが掲載されました。紙面の中なので分かりにくかったというのがあったかもしれません。資料4の裏面に有りますが、5月から各地域に出張販売でお邪魔しております。庁舎ですとか各コミセンですとか温泉施設にお邪魔していますが、地域によってはチラシを全戸配布したり回覧をしたりご案内しているんですが、なかなかまだ出張販売しているという情報が足りないで、先週の19日に当社のグループ会社のエスマールのチラシの裏面を使いまして「出張販売していますよ」とお声掛けをさせて頂きました。高齢者の方は、こういう制度があっても文字だけでは理解が難しいですし、そもそも今バスに乗っていないので、どうしたらバスに乗れるのか解らないんだという声が多かったので、ほぼ出張販売というよりバスの説明会でお邪魔しているのがメインです。今までは、エスマールとか営業所とかなかなか交通の便が無いので買いにも行けないとの声があったので、歩いても行けるコミセンをお願いして出張販売しているのですが、忘れ物しても取ってこられる様な普段の生活圏内でお邪魔できないかなと思ひまして、地域振興課をお願いしコミセンで販売を始めたところです。そうしますと、「バス乗ったことないんだけど」「チラシを見てもなかなか買いに行けない」という方がいたり、「家族から進められてだんだん車は危ないからバスにしないかと言われて来てみました」という方がいました。当初、一日当たり82円ですよとチラシを作ってPRしているのですが、毎日使うと一日82円ですよという事なんですけど、お住まいの地域によっては医者に行くだけでも週に1回2回使うだけでも大分割安になります。使い方の説明をしながらお邪魔していますので、もっともっと機会があればどこでもお邪魔しますので、お声をかけて頂きたいと思ひます。

○議長：

他にご質問などございませんか。無いようですので、本件について委員の皆様よりご承認いただくという事でよろしいでしょうか。

(委員より異議なし)

それでは、本件については承認といたします。

(2) 地域公共交通網形成計画(平成28~32年度)における平成30年度事業

○議長：

続きまして、「(2)地域公共交通網形成計画(平成28~32年度)における平成30年度事業」について、事務局の説明をお願いします。

○地域振興課： 説明 (資料3)

○議長：

このことについて、ご質問やご意見はございませんか。

○委員：

明日、羽黒にこここバスの協議会がありまして、そこで羽黒地域の課題とか要望とかいろいろ話をさせて頂く予定でありますが、この前ある会議で羽黒地域の二つの日本遺産が認定されていますけれども、おかげ様で観光客も訪れているなかで、今ご説明あったとおり出羽三山の方が結構いろんなサポート体制が強化されていると思うんですけども、松ヶ岡がなかなか、整備はやって

いますが、そこに行く手段が自家用車しかない。例えば鶴岡から日本遺産の松ヶ岡に行く時に移動手段が無い方がいる。その辺のサポート体制があってもいいのかなという意見を言う方がいらっしやいました。私もすぐ近くに住んでいますけれども、そのような感じがします。どの位のニーズがあるのか判りませんが、今、外構工事とかやっていますので完成したら交流人口が増えるのではないかと思います。ぜひ駅前、鶴岡市内から松ヶ岡への交通機関の無い所ですのでその辺の検討もして頂けるとありがたいです。

それから、去年の3月の協議会でも話していたんですけど、「高齢者がにこにこバスのルートの所まで出てくるのが大変だ。坂もあるし歩いて来る。ちょっと登ってもらいと非常に利用しやすい」とか要望が出ているんです。毎日ではないですけども、ぜひ今の市バスのルートのシステムの中に、昨今デマンド方式、例えば前の日あたりの申し込み予約を入れてちょっと立ち寄ってもらうとかちょっと足を延ばしてもらうとか、既存のルートの他に藤島地域東栄地区のようなデマンド方式も入れると利用者も増えるのかなという感じが致します。お金が掛かるのは重々わかりますけれども、金はないから駄目だとかそういう話ではなくて、ぜひ利用者目線で考えてもらうと有り難い。宜しくお願い致します。

○地域振興課：

1点目の松ヶ岡に関するルートと言うことでしたが、これから観光客も増える事が見込まれますので、関係部署と相談しながら路線に関しましても検討してまいりたいと思います。本日はご要望として受け止めさせてさせて頂きます。

2点目ですけども、にこにこバスのルートとういことでもございましたが、地元市営バス利用拡大協議会などの組織もございまして、主体的に取り組んでおります。地元の利用者が使いやすいようなルートや時間について協議会で検討していただきながら、より利用しやすいような交通体系にして行きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

○議長：

その他ございませんか。無いようですので、本件についてご承認いただくという事でよろしいでしょうか。

(委員より異議なし)

本件につきましても提案の通りご承認頂きましたので、これに基づいて各事業に取り組んで参ります。

それでは次に「3. その他」ということで皆様方から何かございませんでしょうか。

せっかくの機会でございますので庄内交通さん、ハイヤー協会の鶴岡支部さんの方から情報提供等お願い出来ればと思います。

○庄内交通：

先程もお話させて頂きましたが、今年度春からゴールドパスに市の大きな補助が入りまして、昨年度までですと年間で1カ月と3カ月定期券合わせまして200枚ほどの販売でございました。今年度は4月・5月で昨年と同じ枚数の販売をしております、完全に新規、初めての方と言うのが4月で57名、5月で37名ということで、初めて使ってみようという方も増えております。

バスの事が解らない方が非常に多くて、地域に入っていくにもなかなか地域も忙しいという事で、出来れば何か年間で行事とかありましたら、乗り方教室ですとかお試し体験バスという形でバスそのものをお持ちしてバスに乗る方法ですとか、お得な情報ですとか安全な方法ですとか、お話する機会も作っております。その場で出張販売も出きますし、お得な提案もございまして、

ゴールドパスに必ず写真をつけて販売をしているのですが、出張販売ですとパソコンを持ってお邪魔し、その場で写真を撮って加工しますので、写真を持ってこなくてもいいですよという話もしています。宜しければそういう機会を作って頂けると、自分のお宅の近所で手間もかけずに買えるということもございます。市営バスのある地域ですと、市営バスと弊社のバスとゴールドパスを持っていると乗れますので、地域ごとにアピールの仕方も違って来るのかなと思っております。また、通院ばかりでなく、遊びに行く方法として温泉に行こうとかご提案も合わせてしていますので地域で、遊ぶ機会の時にお邪魔させて頂ければなと思っております。

もう一つ、高齢者だけでなく学生さんの利用に関しましても、昨年2月から学生100円バスを始めておりますが、冬場は雪で足元が悪かったのでご利用あったんですけども、春になりますと親御さんの送迎ですとか自転車にバスが負けてしまっている部分が多々ございます。家庭内にバスの利用者があると家族全員がバスを使ってみようという意識づけにもなるのかなと思っておりますので、お子様でもお年寄りでも良いので家庭内にバスを使っている、誰か知って貰って試して頂く機会になればバス利用も増えて行くのかなと考えています。

なかなか観光客の方に乗って頂くのももちろんなんですけれども、やはりバスは地域の足でないといけないと思っておりますので、地域の方が使っていただけるからこそバスが維持できる。委員の皆様からも地域の方にお話し頂けると大変ありがたいです。宜しくお願いいたします。

○山形県ハイヤー協会鶴岡支部：

29年度から高齢者及び免許自主返納者の割引をしております。12月から5月までの利用者の報告をさせて頂きたいと思っております。高齢者と免許返納者が混ざっているのですが、5月末現在で利用件数が16,581件あります。この内の免許返納者は5パーセントくらい。ほとんど利用者は65歳以上の高齢者の方がご利用して頂いております。市の負担なしで事業者負担でやっておりまして、だいたい1件の利用の割引が平均で100円となっております。多い時だと月当たり約9万から10万各会社で負担しておりまして、このままいくとすると継続が難しい段階になっておりますので、鶴岡市のほうからも補助とかご検討を宜しくお願いしたいと思います。

免許返納者の方にも、紅花券というタクシー券を1万円分を市の補助で出していますが、4月・5月で鶴岡支部の方から約3,000枚出しておりますけれども、そのなかで回収できているのが162枚。5パーセントくらいしか戻ってきていません。免許返納者の方も是非もっとタクシー券を利用して乗って頂ければいいのですが、勿体ないのかなかなか使わなくて戻ってきていないので、防災安全課からも利用拡大の方も進めて頂ければ有り難い。次の公共交通会議では一年を通してのご報告が出来ますので、宜しくお願いします。

○議長：

ただ今の情報提供やご報告に委員の皆様より何かございますか。

無いようですので、これで協議を終了いたします。

■「5. その他」でも発言などは無く、地域振興課課長の進行により閉会した。

以上